

命と安全を守り労働のルールを考えるシンポジウム

「いのち Ⅱ」



主催 日本乗員組合連絡会議

共催 航空安全推進連絡会議

航空労組連絡会 全国医師ユニオン

日本医療労働組合連合会

2010年7月31日(土)

会場: The Grand Hall

プログラム

「命と安全を守り労働のルールを考えるシンポジウム」

- 12:30 開場
- 13:00 司会者挨拶 吉村 淳(日乗連議長代行)
- 13:05 主催者挨拶 山崎 秀樹 (日乗連議長)
- 13:10~13:30 基調講演 「航空における疲労リスク管理」
日乗連 HUPER 機長 河野剛治
- 13:30~13:50 基調講演 「医師の過重労働と医療事故」
全国医師ユニオン 医師 植山直人
- 13:50~14:30 基調講演 「パイロットの事例分析から見た長時間過密労働と夜勤」
労働科学研究所 理学博士 佐々木司
- 14:30~15:00 休憩
- 15:00~16:10 パネルディスカッション
テーマ 「いのちを守る人の命が危ない」
「疲労を科学的に検証」
「ヒューマンエラーを未然に防ぐためには」
日乗連 HUPER 機長 河野剛治
全国医師ユニオン 医師 植山直人
労働科学研究所 理学博士 佐々木司
キャビンクルーユニオン CA 森 陽子
医労連 看護師 山田真巳子
渋谷共同弁護士事務所 弁護士 米倉 勉
- 16:10~16:25 質疑応答
- 16:25~16:30 まとめ、閉会挨拶

安全な医療、交通を提供し、利用者を犠牲にすることなく、過労死や過労による事故のない社会の実現を求めていく。

科学的知見を取り入れ、疲労が引き起こすかもしれないリスクを未然に防止し、命と安全を守るため労働のルールを整備していく。